



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 井村屋グループ株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 2209 URL <https://www.imuraya-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 安樹
 問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス室長 (氏名) 石原 幸尚 (TEL) 050-1791-2014
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	11,569	6.6	257	△25.4	366	7.1	227	25.5
2026年3月期第1四半期	10,848	9.4	345	—	341	83.0	180	8.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 613百万円 (139.4%) 2026年3月期第1四半期 256百万円 (30.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	17.74	—
2026年3月期第1四半期	14.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	48,222	25,158	52.2
2026年3月期	43,326	25,031	57.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 25,158百万円 2026年3月期 25,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	2.9	1,600	△18.9	1,700	△16.7	1,100	△24.3	85.96
通期	56,000	4.2	3,300	3.1	3,400	△3.8	2,400	0.4	187.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	13,086,200株	2026年3月期	13,086,200株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	289,151株	2026年3月期	289,126株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	12,797,055株	2026年3月期1Q	12,797,248株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、中東情勢の影響を受けたエネルギーコストや原材料価格の上昇、為替動向による影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、2026年度は当社グループの中期経営計画「Value Innovation 2026（新価値創造）」の最終年度として、目標達成と次期中期計画の策定に向けた重要な年度となります。今期の活動指針に「自（みずから）」を掲げ、従業員一人ひとりが当事者意識と責任感を持って能動的に目標達成に向けて取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、井村屋株式会社の冷菓カテゴリーおよび点心・デリカテゴリーを中心に増加しました。また、井村屋フーズ株式会社におけるOEM商品の受注が順調に推移しました。海外においては、アメリカのIMURAYA USA, INC. で売上が大きく伸長しました。その結果、連結売上高は、115億69百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

損益面では、継続的な生産性向上の取り組みによりコスト削減を推進したものの、原料価格の上昇や資材費の高騰、減価償却費の増加の影響により、売上原価が増加し、営業利益は減少しました。一方、為替差益の計上などにより、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は増加しました。

以上の結果、営業利益は2億57百万円（前年同期比25.4%減）、経常利益は3億66百万円（同7.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億27百万円（同25.5%増）となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

① 流通事業

流通事業（BtoC事業）の中心となる井村屋株式会社では、菓子、冷菓、点心・デリの各カテゴリーで売上が増加しました。また、井村屋フードサービス株式会社では、新規店舗の「アンナミラズ 南青山店」と「ラッセリア」が、売上の増加に寄与しました。

以上の結果、流通事業の売上高は102億99百万円（前年同期比6.3%増）となりましたが、減価償却費の増加などにより、セグメント利益は4億47百万円（同26.8%減）となりました。

流通事業におけるカテゴリー別の概況につきましては以下のとおりです。

なお、当連結会計年度より、スイーツカテゴリーの名称をフードサービスカテゴリーに変更しております。また、VISONカテゴリーとして記載していた「福和蔵」と「菓子舗井村屋」は、それぞれ食品カテゴリーおよびフードサービスカテゴリーに組み入れて記載しております。これに伴い、前年同期比は前年同期の数値を今期のカテゴリーに組み替えて算出しております。この変更はセグメント内のカテゴリーの変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

（菓子カテゴリー）

「ギュッと押すだけパッケージ」を採用した「片手で食べられる小さなようかん」シリーズや「スポーツようかん」シリーズがご好評をいただき、売上が伸長しました。さらに、独自の冷凍技術を活かし和菓子のおいしさをそのまま提供している冷凍和菓子では、「井村屋謹製たい焼き」シリーズの売上が増加しました。

以上の結果、菓子カテゴリーの売上高は26億円（前年同期比4.8%増）となりました。

（食品カテゴリー）

冷凍食品の「ゴールドまん」シリーズの売上が増加しましたが、「缶詰」や「ホットデザート」の売上は減少しました。

以上の結果、食品カテゴリーの売上高は14億8百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

(デイリーチルドカテゴリー)

「豆腐類」では「大豆屋和蔵 大豆ッ子」や「硬め豆腐」の売上が伸長しました。

以上の結果、売上高は3億41百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

(冷菓カテゴリー)

主力商品の「あずきバー」シリーズが前年同期比103.4%と好調を維持しました。7月1日の「井村屋あずきバーの日」に向けて全国4会場（東京、名古屋、大阪、福岡）で「あずきバー」を無料配布するサンプリングイベント「あずきバー祭り 2026」を開催し、多くの方にご来場いただきました。また、期間限定販売の新商品「いちごあめアイスバー」もご好評をいただきました。海外においても、アメリカではIMURAYA USA, INC.において現地生産商品の「MOCHI ice cream」の売上が好調に推移し、マレーシアではIMURAYA MALAYSIA SDN. BHD.において「Mochi Mochi」の販売が増加しました。

井村屋株式会社においては、建設を進めておりました新工場「アイス FACTORY」が、6月5日に竣工しました。最盛期に向けて順調に稼働を開始しております。

以上の結果、冷菓カテゴリーの売上高は49億1百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

(点心・デリカテゴリー)

「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーは、定番商品を中心にコンビニエンスストアでのスチーマー販売が増加しました。

以上の結果、点心・デリカテゴリーの売上高は8億59百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

(フードサービスカテゴリー)

フードサービスカテゴリーでは、2026年2月にオープンした「アンナミラーズ 南青山店」と「ラッセルリア」が順調に推移し、売上増加に貢献しました。また、「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー)」においても、広尾店、KITTE名古屋店、JR京都伊勢丹で売上が前年同期を上回りました。

以上の結果、フードサービスカテゴリーの売上高は1億88百万円（前年同期比76.3%増）となりました。

② 調味料事業

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、機能性・健康食品商材を用いたOEM商品を中心に売上が伸長しました。また、海外の中国事業においても中国国内の売上が伸長しました。

以上の結果、調味料事業の売上高は12億9百万円（前年同期比10.0%増）となり、セグメント利益は1億96百万円（同38.1%増）となりました。

③ その他事業

イムラ株式会社においてSDGsの一環として井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」が地域のお客様の支持を得て売上が伸長しました。

井村屋グループ株式会社の賃貸事業を加えた、その他事業の売上高は59百万円（前年同期比5.5%増）となり、セグメント利益は17百万円（同35.7%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は482億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億96百万円の増加となりました。流動資産は、販売増加に伴う売掛金や棚卸資産の増加などにより、23億56百万円増の160億13百万円となりました。固定資産は、新工場建設に伴う有形固定資産の増加などにより、25億40百万円増の322億9百万円となりました。

負債は230億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億69百万円の増加となりました。流動負債は、設備投資に伴う短期借入金の増加などにより、41億75百万円増の190億27百万円となりました。固定負債は、その他に含まれる長期リース債務や繰延税金負債の増加などにより、5億94百万円増の40億37百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、1億26百万円増の251億58百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期に向けて、夏場の主力商品である「あずきバー」シリーズの売上増加など、順調に推移する見込みであり、また、冬場の点心・デリ商品の導入計画も順調に進捗しておりますので、2026年5月12日付の「2026年3月期決算短信」において公表いたしました業績予想につきましては現時点では変更はありません。

ただし、景気の停滞や世界的な経済状況の変動、原材料の高騰などの環境変化によって業績予想の修正が必要であると判断される場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,311,088	1,634,578
売掛金	6,298,141	6,887,003
商品及び製品	3,869,870	4,774,472
仕掛品	395,951	477,898
原材料及び貯蔵品	918,656	1,040,314
その他	865,205	1,200,704
貸倒引当金	△1,297	△1,344
流動資産合計	13,657,617	16,013,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,771,499	23,233,081
減価償却累計額	△13,048,409	△13,232,484
建物及び構築物（純額）	8,723,089	10,000,596
機械装置及び運搬具	22,186,760	24,270,495
減価償却累計額	△16,854,389	△17,188,655
機械装置及び運搬具（純額）	5,332,371	7,081,840
土地	5,711,668	5,711,668
その他	5,415,372	4,298,841
減価償却累計額	△1,540,755	△1,546,011
その他（純額）	3,874,617	2,752,830
有形固定資産合計	23,641,746	25,546,935
無形固定資産		
リース資産	97,861	87,904
その他	25,401	27,139
無形固定資産合計	123,262	115,043
投資その他の資産		
投資有価証券	3,593,102	4,226,929
退職給付に係る資産	1,953,299	1,954,875
その他	357,732	366,038
貸倒引当金	△626	△626
投資その他の資産合計	5,903,508	6,547,217
固定資産合計	29,668,518	32,209,197
資産合計	43,326,135	48,222,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,953,461	3,831,062
電子記録債務	1,268,641	1,475,817
短期借入金	2,700,000	8,500,000
未払金	4,613,906	3,320,669
未払法人税等	743,356	114,577
賞与引当金	732,000	450,500
役員賞与引当金	70,000	-
その他	770,120	1,334,601
流動負債合計	14,851,488	19,027,229
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	59,274	57,267
資産除去債務	66,038	66,137
その他	3,317,576	3,913,686
固定負債合計	3,442,888	4,037,091
負債合計	18,294,376	23,064,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,576,539	2,576,539
資本剰余金	3,810,519	3,810,519
利益剰余金	15,127,193	14,867,910
自己株式	△717,258	△717,319
株主資本合計	20,796,993	20,537,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,686,896	2,123,259
土地再評価差額金	1,903,231	1,903,231
為替換算調整勘定	△92,755	△104,020
退職給付に係る調整累計額	737,393	698,383
その他の包括利益累計額合計	4,234,765	4,620,854
純資産合計	25,031,758	25,158,504
負債純資産合計	43,326,135	48,222,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,848,278	11,569,186
売上原価	6,985,473	7,552,038
売上総利益	3,862,805	4,017,148
販売費及び一般管理費	3,517,074	3,759,237
営業利益	345,730	257,910
営業外収益		
受取配当金	51,124	67,752
受取家賃	9,356	11,109
為替差益	—	32,095
その他	24,322	29,740
営業外収益合計	84,803	140,698
営業外費用		
支払利息	15,186	31,907
為替差損	68,314	—
その他	5,189	577
営業外費用合計	88,690	32,484
経常利益	341,842	366,124
特別利益		
補助金収入	3,000	548
投資有価証券売却益	—	966
特別利益合計	3,000	1,514
特別損失		
固定資産除却損	0	25
棚卸資産処分損	—	8,072
特別損失合計	0	8,098
税金等調整前四半期純利益	344,842	359,541
法人税、住民税及び事業税	91,984	76,909
法人税等調整額	73,146	55,624
法人税等合計	165,130	132,534
四半期純利益	179,712	227,006
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,235	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,948	227,006

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	179,712	227,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,453	436,363
為替換算調整勘定	19,733	△11,264
退職給付に係る調整額	△24,834	△39,009
その他の包括利益合計	76,352	386,089
四半期包括利益	256,065	613,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	257,831	613,095
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,766	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	流通事業	調味料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,691,786	1,099,739	10,791,526	56,751	10,848,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,777	7,309	24,087	4,321	28,409
計	9,708,564	1,107,049	10,815,614	61,073	10,876,687
セグメント利益	611,245	142,450	753,696	12,874	766,571

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸・管理業及びリース代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	753,696
「その他」の区分の利益	12,874
全社費用(注)	△420,840
四半期連結損益計算書の営業利益	345,730

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	流通事業	調味料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,299,667	1,209,650	11,509,317	59,868	11,569,186
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,652	4,565	22,218	4,698	26,916
計	10,317,320	1,214,216	11,531,536	64,566	11,596,103
セグメント利益	447,284	196,710	643,994	17,464	661,459

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸・管理業及びリース代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	643,994
「その他」の区分の利益	17,464
全社費用(注)	△403,548
四半期連結損益計算書の営業利益	257,910

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	514,387千円	629,079千円